

# 平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

静岡県

行事名称	第62回文化財防火デーに伴う平成27年度文化財防火訓練
実施期間・日時	平成28年1月24日（日）8：00～9：30
実施場所	国登録文化財可睡齋瑞龍閣・東司（静岡県袋井市久能2915番地の1）
主催者	可睡齋・袋井消防本部・袋井消防署・袋井市教育委員会

## ■実施内容

### 訓練の想定

国登録文化財可睡齋瑞龍閣の南側庭木（立木や下草）から不審火により出火炎上し、建物への延焼する恐れがあると想定。消防団により境内の宝生池からポンプ車を中継して放水、仁王門前階段下の消防本部・消防署からの2台のポンプ車からホースを延長して放水する訓練の実施。

### 訓練の内容

可睡齋僧侶による火災発見、通報、初期消火（水消火器）、重要物品（模擬）の搬出、参拝者の避難誘導訓練を実施。消防署、消防団による放水訓練を実施

### 参加者及び役割分担

可睡齋職員（自衛消防隊）	15名：119番通報、初期消火、重要物品の搬出、初期消火、重要物品の搬出、参拝者の避難誘導
袋井市消防団（本部・袋井方面隊第4分団）	45名：放水訓練
袋井消防本部・袋井消防署	21名：全体統括、放水訓練
静岡県教育委員会	1名：現場立ち会い
袋井市教育委員会	4名：現場立ち会い

### 特に工夫した点

国登録文化財の登録を機に始めて可睡齋において文化財防災訓練を実施。地元消防団と消防署との連携による消火訓練を実施。

### 問題点・課題

可睡齋は数多くの木造建築が接続して伽藍を形成しているため、消火活動が迅速に行うことができる状況を維持することが課題。

### その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や文化財所有者の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

### 訓練風景

